

令和2年度第1回厚木市里地里山保全等促進委員会会議録

- 1 日 時 令和2年8月4日（火）午後3時から4時30分まで
- 2 場 所 厚木市本庁舎4階大会議室
- 3 出席者 厚木市里地里山保全等促進委員会委員6人
事務局（環境農政部長、環境政策課長、環境政策係長、環境政策係主査）4人
- 4 会議主管課 環境政策課
- 5 案 件 (1) 令和元年度里地里山保全等促進事業の取組について（資料1）
(2) 里地里山保全等促進計画の改定について（資料2～3）
- 6 会 議 録 次のとおり

事務局	<p>【1 開会】</p> <p>－本年度第1回目会議開催の旨伝える。－</p>
委員長	<p>【2 あいさつ】</p> <p>皆さん、こんにちは。お暑い中、御参集いただきましてありがとうございます。</p> <p>ようやく遅い梅雨が明けまして、夏もたけなわになってまいりました。熱中症等には気を付けていただければと思います。</p> <p>里地里山の緑というものは、私たちに癒しや安らぎを与えてくれるものではないかと思えます。どちらかという、世の中は新自由主義で、お金だけ、私だけ、今だけという価値観の元で、経済発展をしていますが、そのツケのようなものが、環境に対して大きなインパクトを放っているように感じられます。</p> <p>里地里山が持つ多面的機能については、関わる多くの人が癒し等を享受している状況ではありますが、さらに、市民とともに環境を考え取り組むことが求められていると思えます。</p> <p>幸い、厚木市ではこういう部門では尽力をしておられ、また、今日お集まりいただいた皆様のように、各専門分野から協議をしてくださっています。特に市民の方がこのような場に関わってくださっているということは、里地里山の保全についての協働という意味では、ある一定の成功を得ているということだと思えます。</p> <p>会議の後段では、現状よりもさらに良くしていこうという提案もあるようです。行政側からだけではなくて、皆さまからも、より良い里</p>

<p>環境農政部長</p>	<p>地里山の保全や活用の議論を進めていただければと思います。</p> <p>これまで進めてきて、活動団体間の意見交換会の予定もありましたが、コロナウイルスの関係もあり延期となってしまいました。そういったことも併せて、これから取り組んでいただければよろしいかと思えます。</p> <p>皆さま、御協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>皆さま、こんにちは。環境農政部長の小泉と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>当委員会に御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。さて、最近の国際的な動向といたしましては、経済、社会、環境といった課題に対しまして、統合的に取り組むSDGsが、国際社会共通の目標となっております。</p> <p>この2030年を期限としたSDGs17の目標には、環境分野のことが多く含まれてございます。環境への取組は、持続可能な社会の実現にとって、非常に重要な位置づけとなっております。</p> <p>特に、来年度から開始の厚木市第10次総合計画において、その基本構想では、まちづくりに関する事項にSDGsの高まりということで、新たに明記をしているところでございます。</p> <p>また、国内においては、2020年版環境白書が6月2日に閣議決定され、公表されております。地球温暖化に伴う豪雨災害や猛暑へのリスクの高まりから、初めて「気候危機」という言葉が使われてございます。</p> <p>今後、気候災害の頻発化や激甚化が予測されることから、減災のことを念頭におき、事業を進めていくことも、必要であると思われまます。</p> <p>そうした中、里地里山においては、森林を適切に管理することによるCO2吸収源の機能や土砂災害の防止など地球温暖化の緩和や減災の機能を有するとともに、多様な生き物の生息環境、景観やバイオマス資源など多面的機能を持ち合わせております。</p> <p>本市では、このような里地里山の保全及び活用を図るため、平成25年度に条例を制定しました。</p> <p>その後、玉川、小鮎、荻野3つの地域を促進地域に指定し、現在、7つの団体が、精力的に活動を展開しているところでございます。</p> <p>また、条例制定後、平成26年度には、里地里山保全等促進計画を策定いたしまして、平成27年度から令和2年度までの6年間の運用で行っておりますが、今年度が最終年となります。</p> <p>そのため、本日の議題にもございますが、今年度は、その計画改定を行ってまいります。</p> <p>この計画改定に当たっては、里地里山の豊かな自然やその恵みを将来に継承していくため、委員の皆様それぞれの立場で、御意見をいた</p>
---------------	---

	<p>だきながら、より良い計画づくりを進めていきたいと考えてございますので、御協力の程よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、現在、世界を揺るがしております新型コロナウイルスの関係でございますが、5月下旬に緊急事態宣言が解除されましたが、7月に入り、東京を中心に感染者が増加傾向にあります。終息には至らず、その対応は、今後も継続していくものと思われまます。</p> <p>そのため、この会議においても、新しい生活様式で示された感染対策を踏まえ、開催してまいりますので、御協力の程よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>【3 案件（1）令和元年度里地里山保全等促進事業の取組について（資料1）の説明一】</p> <p>【3 案件（1） についての質問・意見等】</p>
B委員	<p>資料の中で荻野地区の活動団体について、苗木の育成管理とありますが、何か把握されている種類がありますか。</p>
事務局	<p>ドウダンツツジを育成管理していると聞いております。</p>
委員長	<p>荻野地区の活動団体につきましては、平成17年から桜の植樹をしておりますが、中々、活動場所が桜の山にはなっておりません。</p> <p>私自身が気になるのが、テクニカルな部分のサポートをもう少ししたら良いのかと思います。例えば、桜を植える時の地拵えや植えた後の草刈りのような、メンテナンスが充分でないような気もしています。</p> <p>実は、同じような事例が私の知っているところでありまして、毎年100本の桜を植えていますが、すぐに葛に巻かれてしまって、全然桜の山にはならないのです。</p> <p>せっかくやっただいてるので、きちんと評価をしてあげたいのですが、そのためにはメンテナンスのサポートが必要ではないかと考えます。この委員会でも助言等をしてあげてはいかがでしょうか。</p> <p>また、県の条例の認定を受けられない理由ということは、何かありますでしょうか。</p>
事務局	<p>認定を受けられないことにつきましては、昨年度末に活動団体さんへヒアリングを実施しており、認定の意向がないとのことでした。</p> <p>意向がない理由としましては、現在の団体組織として事務や会計を一人で行っている状況であり、既に受けている補助金の申請等の書類だけでも大変なのに、他に新規に申請することで更に事務が煩雑になってしまうため、現在のところ申請の意向はないとのことでした。</p>

委員長	<p>団体さんの活動地域に住んでおられる、C委員も一緒にサポートしてあげなくてはなりませんね。</p>
C委員	<p>私も活動地域に住んではいますが、あまり関わり合いがない団体さんです。なお、メンテナンスとしては、やはり植樹してから3年から5年は下草刈りをしてあげなくては、育たないと思います。</p>
委員長	<p>七沢地区の活動団体については、マコモあたりを特化してあげると非常に面白いものができるのではないかと思います。</p> <p>農薬等を使用するわけでもなく、常に湛水状態になるので、多様な水生昆虫の住処になりますし、子供たちの遊び、学びの場にもすごく適した環境になると思います。</p>
委員長	<p>他にはいかがでしょう。</p>
環境農政部長	<p>一つ補足をさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>今、委員長から里地里山保全活動のお話がありましたが、7つの活動団体が長い間、市に貢献いただいているとのことで、今年の2月1日に市表彰式がございました。この表彰式は、多方面での活躍や優秀な成績を収められた個人、団体等、様々な方を対象に毎年表彰させていただいております。</p> <p>今年の2月1日は厚木市制65周年の周年記念でもあり、7つの団体さんについては表彰をさせていただきました。荻野地区の活動団体さんが7つの団体を代表して登壇し、小林市長から賞状を受けていたと記憶しております。</p> <p>表彰を受けられたということもあり、今後の活動への取組についても、さらに広がっていただければと感じたところでございます。</p>
委員長	<p>表彰されたことは、団体にも活動の励みになったことかと思います。</p> <p>他にはいかがでしょう。</p>
委員長	<p>活動エリアにおいて、内容が水田の保全活動という団体が結構あるかと思います。水田は中山間地域において、直接支払交付金制度ですとか多面的機能支払交付金ということで補助金が出ているのですが、市として取り組んでいるのでしょうか。</p>
環境政策課長	<p>市と農協さん、農業団体さんなどで、厚木市農業再生協議会というものが構成されていまして、元水田協議会という減反政策などに取り組む組織だったものです。</p> <p>ただ、水稻に関しては国の支援が2、3年前に打ち切られておりま</p>

	<p>す。水田転作としての麦や大豆といった作物につきましては、補助が出ている状況でございます。</p> <p>それと、多面的機能支払交付金につきましては、水利組合がある程度しっかりしている場合には、使わせていただいております。里山の団体さんに関しましては、あまり水利組合が盛んではないというところもございますが、農業部門にも確認をさせていただきます。</p>
委員長	<p>厚木市は22.5万人の都市ではありますが、周縁地域は中山間地域に該当してくると思われまので、ぜひ上手く活用をしていただきたいと思います。</p> <p>D委員に質問ではありますが、里地里山の活動団体は、これらの補助金の対象となり得るのでしょうか。</p>
D委員	<p>多面的機能支払交付金につきましては、農振農用地が対象ではありません。中山間地域の直接支払交付金制度については、おそらく厚木市さんは対象外ではなかったかと記憶しています。</p>
委員長	<p>多面的機能支払交付金は、里地里山の保全活動にも内容としては関与するところだと思われまので、国や県に伝えてみていただくと良いと思います。</p> <p>また、森林に対しての補助金はあるのでしょうか。</p>
環境政策課長	<p>補助金としてのメニューはあろうかと思ひます。</p>
委員長	<p>この後にも出てきますが、未病の改善への取組ということで、里地里山は田や畑だけではなく、森林まで続いているわけではあります。</p> <p>続いているにも関わらず、ぶつ切りにしてしまっているのので、鳥獣被害の問題なども出てきてしまっているのです。</p> <p>そのようなことも含めて、オール田舎とオール行政として取り組んでいただければと意味が出てくると思ひます。</p>
環境政策課長	<p>委員長がおっしゃられた多面的機能支払交付金については、内容を熟知しているわけではございませんが、調べたところメニューがありそうですので、もう少し確認させていただければと思ひます。</p>
委員長	<p>多面的機能支払交付金は、体験活動等の実施で金額が上積みされるかと思ひます。</p>
B委員	<p>9ページにイオン環境財団とありますが、日本国内に同様の財団がどれくらいあるかご存じでしょうか。</p>

委員長	物凄く多いと思いますよ。企業が環境貢献あるいは事業のメセナ活動として、行っているところもあります。
事務局	荻野地区の活動団体さんは、イオン環境財団の他に、今は受けておりませんが三菱UFJ環境財団から補助を受けていた時期もあったようです。
委員長	E委員は、その辺りご存じでしょうか。
E委員	いくつかは知っておりますが、実際に助成を受けることができたのはセブン-イレブン記念財団や花博自然環境助成などです。インターネットで検索し調べると、かなりの数が出てきます。
委員長	こういった活動への賛同補助についても、スクリーニングし、リストアップ後に繋いでいくことも必要ではないかと思います。
B委員	実は狙いはそういうところにあります。
委員長	説明の最後にも紹介がありましたが、ふるさと納税というファンドを優先的に回していただいていることは、本当にありがたいことですが、活動として「見える化」していく必要性もあると感じます。 他にいかがでしょうか。
E委員	先ほど、桜を植えている団体さんのお話がありましたが、どのような種類の桜になるのでしょうか。
委員長	ソメイヨシノが多かったと思います。やはり、山桜が一番強いですね。そして山桜は実生ですから、適応するには0からスタートになります。
E委員	出来たら、その地にあるものを植えていただければと思いましたが。
委員長	A委員にお伺いしたいのですが、JAとして水田の保全などの支援は行っていますでしょうか。
A委員	そうですね。地域的には平地から中山間地域までの300ヘクタール近くある水田をどうやって守っていくのかということについては、議論は必要ですし、先ほどもお話しがあったとおり有害鳥獣の問題もかなり出てきています。地区によっては里地里山に入ってはおりません

	<p>が、政策面等で草刈りなどの対策を取っておりますので、複合的に里地里山に含まれない部分についても活動はさせていただいていると思っております。</p>
委員長	<p>特に夢未K i d sなどは食育といった部分で、多面的機能を考える際に参考になります。より厚木市全般に広げていく取組が必要だと思います。</p>
事務局	<p>【3 案件（2）厚木市里地里山保全等促進計画改定について（資料2～3）の説明ー】</p> <p>【3 案件（2）についての質問・意見等】</p>
委員長	<p>ありがとうございました。 質問等あればお願いします。</p>
C委員	<p>各団体の意見交換会が中止になったが、ぜひ開催して欲しいとおもっています。 また、一つ提案ですが、せっかく団体の方に集まっていたくので、里山への知識が深い方を読んで講演会をしてはどうでしょうか。 なお、資料2の3ページの郷土資料館は郷土博物館ではないでしょうか。</p>
事務局	<p>資料については修正をさせていただきます。</p>
事務局	<p>実は、意見交換会は、次回の委員会（9月11日）に開催を予定しています。団体からの参加者は1、2名で調整をしている状況です。 講演会は日付が近く、9月11日に開催は難しい可能性もありますが、出来なければ別の機会に設定することも考えております。</p>
委員長	<p>団体の参加は複数人（2、3人）来ても良いのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>了解しました。意見交換会の中で出た課題等も、計画に盛り込んでいければと考えております。</p>
委員長	<p>意見交換会の内容はどのようなものにする予定でしょうか。各団体の活動内容などでしょうか。</p>
事務局	<p>8月中に各団体にヒアリングを行う予定ですので、その内容を取り</p>

	<p>まとめたものも提示させていただく予定です。</p>
D委員	<p>神奈川県を、反映を検討する内容として取り上げられていますが、一点不足している箇所として、活動の担い手不足の対応としまして、地域で活動をしている里地里山保全活動団体以外の団体（例えば自治会のような）、地域の他の活動をしている団体との協働関係を促進していったらどうかということ、指針では盛り込んでいます。</p> <p>今回の計画改定の資料内では、直接は触れていないようですが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>抜けてしまっている可能性もありますが、確認して含めるかを検討させていただきます。</p>
D委員	<p>実態として里地里山保全活動をする団体と、他の活動を行う団体との協働はありますでしょうか。</p>
事務局	<p>例えば、カテゴリーとして近い生物多様性の関係団体と、生き物の調査などを実施することなどは、実行の可能性としては有りうるころだと思えますが、現時点で把握している限りで、他の活動をしている団体との協働ということは、ほとんどないと考えています。</p>
委員長	<p>食育に関する団体などは大いに関わりを持てると思えますし、市民協働の団体と、少し枠を広げつつ理念を共有しながらやっていくことも考えていければ良いのではないのでしょうか。</p> <p>なお、厚木市は地域おこし協力隊は任用していますでしょうか。</p> <p>また、神奈川県の中ではどこか任用しているところがありますでしょうか。</p>
A委員	<p>清川村が任用しています。産業観光課で1名いるとのこと。</p>
委員長	<p>ぜひ、そういったものも活用して欲しいと思います。そして問題は何をしてもらうかではないのでしょうか。そこが好きで行って地域おこし協力隊に入っても6割くらいしか定着しない現実があります。</p> <p>地域おこし協力隊として何をミッションとするのか、里地里山の関連事項を行うとして、なぜやるのかを考えなくてはならないと思います。それは、課題のところにもありますが、各々の活動団体は高齢化し自身の活動を守ることで精一杯で、団体自身でコーディネートはできない状況です。</p> <p>食育にしても、環境教育を行うにしても受け皿にはなれますが、どう人を集めるのか、どうコーディネートするのかということは、全く</p>

	<p>できてはいません。</p> <p>里地里山の活動をスムーズに行い、リンクさせるコンシェルジュ、つまりは繋ぎの役目を行う人間を、例えば地域おこし協力隊として雇用しサポートしてもらうことも考えられます。</p> <p>それができないとなると、場合によっては市でコンシェルジュの役割を果たす人材を捻出する必要性が出てくるかもしれません。</p>
事務局	<p>そういうことも有りうると思います。</p>
委員長	<p>広島県のバイオマスの事例は、既に山梨県の道志村では導入しています。中々難しいと言っていたが、市のみで完結しようとするのが難しいと思います。</p> <p>飯山と七沢の一部の温泉は、温泉とはいえ温度が低く、加温する必要があります。加温するには石油が便利ですが、やはり木質バイオマスの使用をしていただきたい。道志村では、軽トラック一台の積載量あたり 5,000 円程度で木質バイオマスの材料を買い取っています。</p> <p>厚木市でも 7 つある活動団体が同様のことを行えば、運営経費にもなると思います。その代わり行政としても、例えばハイブリッドの装置に対して助成などのサポートは必要にはなりません。</p> <p>道志村では、7、8 年前のデータにはなりますが、木質バイオマスを利用することで年間 800 万円程度の費用削減ができています。</p> <p>そのようなメリットも計算して、ハード面では補助できる体制が構築できると良いと思います。それが結果として個々の環境を守り、また市民に癒しや安らぎ、健康を与えていくことにつながっていきます。</p> <p>市だけでは解決できないかもしれませんが、色々な箇所に目を向けて解決していければ良いと思います。</p> <p>薪などを供給することで森林整備や生物多様性の保全が確保されますし、活動資金の原資にもなり、最終的には自己実現にもつながっていくと思います。</p> <p>では、他に意見や質問等がありますでしょうか。</p>
C 委員	<p>出席してくれるかは分かりませんが、神奈川県自然環境保全センターや郷土博物館の方にも、団体の意見交換会に声をかけてはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>講演会への打診ということかと思いますが、神奈川県自然環境保全センターは環境審議会の委員をしてもらっている縁もありますので、可能であるかの確認をさせていただきます。</p>

委員長	<p>現計画は今年度が最終となりますが、行政サイドとしては機運の高まりを、どのように次の計画に繋げていくかを考えなければならないと思います。</p> <p>では、他に意見や質問等がありますでしょうか。</p>
B委員	<p>2、3年前だったと思いますが、委員長にお願いをして七沢の水源林調査に行ったことがありました。室内で会議を行うだけではなく、現地赶赴いて現状を把握することも大切なことだと感じています。</p> <p>マコモが食べられることなど、新たな知見を得ることができたのも、自分の中では大きな収穫でした。</p> <p>また、提案にはなりますが、私自身が飯山観音の慰霊堂の清掃時に足を3箇所、腕を1箇所、それぞれヤマビルの被害に遭い、未だに痒い状態が続いています。里地里山の保全管理がされないと、ヤマビルが多数生息する環境になるといったことを、資料に写真などで盛り込むと現状の理解が進むと思います。</p> <p>奥山で野生動物の餌がなくなってきたことから、ヤマビルは増えていまして、自宅の庭でも家内が被害に遭いました。恐らく、夜に猿か鹿が来ていたのだと思いますが。</p>
事務局	<p>里山活動の課題の一つとして、ヤマビルの問題があると認識しており、特に女性に対しての影響は大きいと感じています。</p> <p>地域住民で下草刈りや落ち葉かきなどの対応の他、希望する市民には木酢液の配布などを行っていますが、根本的な解決にはいたっていないという状況です。</p>
委員長	<p>神奈川県で行っている「未病の改善」における対象地域は、南足柄市のみでしょうか。</p>
D委員	<p>県での統一的な考えで、県西地域を重点的に取り組むとありまして、厚木市も含まれます。</p>
委員長	<p>厚木市は温泉などの温浴施設もあり、活用できるコンテンツとしては揃っています。健康づくり大学では、森林散策などの色々な活動を行った後に、七沢の病院の先生に講評していただいたり、血圧を測ったりということをしてきました。そういうことも併せて取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>それと、ヒアリングをすることでしたが、市民が里山とどう関わって良いかということが、あまり分かっていない現状があります。</p> <p>そこでヒアリングでは、団体にどんなことができるかを出してもらい、コンテンツとして整えて欲しいと思います。そうすることで、市</p>

	<p>民からの問合せに対しても、いつの時期に、どこで何を実施することができる。といったメニューの提示ができると思います。</p>
事務局	<p>団体として、何か新しいことができないかということも含めて聴取したいと思います。</p>
委員長	<p>団体の活動場所でマコモを育てている箇所がありますが、生き物調査を実施したことはありますか。</p>
E委員	<p>多少ですが実施したことはあります。冬水田んぼの関係などもあり、多様な生物が存在しています。</p>
委員長	<p>私自身の関わり合いがある越前市の事例が出ていましたが、良くやっていると思います。休耕田では水を張ってドジョウすくいのイベントを実施していたりします。</p>
E委員	<p>資料3の施策案3（1）に里地里山に親しみを感じる情報発信とあり、取り組み内容として広報あつぎへ掲載やさがみ自然フォーラムへ出展とあります。さがみ自然フォーラムに携わっていますが、宣伝が下手なこともあるのか人が集まりません。</p> <p>広報にも載せてもらっていますが、それだけでは上手く伝わらないようです。何か具体的な手段として考えていることがありますか。</p>
事務局	<p>神奈川県でも行っているSNSの活用も考えておりますが、そもそも、団体が里山の保全活動として何をしているのか、という情報発信がほとんどできていませんので、もう少し活動の中身を掘り下げたものを発信できればと考えています。先ほどのメニュー化にも通ずるものもありますが、こんな活動をしているということを発信し、興味を引いていきたいと思います。</p>
委員長	<p>行政がそれをやっても良いですが、地域おこし協力隊などの外部の力を使って発信をしてもらうことも考えられますので、検討をして欲しいと思います。</p>
事務局	<p>少し前に現地調査で、都内在住の方と市内の保全地域に選定されている箇所を回りましたが、本厚木駅周辺の都市化された地域から景色が一変する里山を見て非常に魅力的に感じていたようでした。</p> <p>自分自身では業務で頻繁に行く地域なので、見慣れた景色ではありませんでしたが、他の地域の方からすると新鮮だったようです。</p>

委員長	<p>我々からすると日常でも、他の地域から来た方には異日常となることが考えられます。</p> <p>異日常は非日常ではなく、非日常は例えばU S Jやディズニーシーなどの「あり得ない日常」です。</p> <p>異日常、つまり「異なる日常」では、例えば七沢石の存在など、場所だけではなく地域を深く知る人なども繋いで、表現する必要があると思います。</p>
D委員	<p>資料3の施策4（4）観光やレジャーとしての里地里山の活用とありますが、県では昨年度からモデルツアー事業を始めておりまして、里地里山にある資源を磨き上げて、旅行業者とタイアップし観光として活用することで、地域に金銭的な潤いが発生するような仕組みづくりをしています。今年度はコロナの関係もあり実施はできませんが、南足柄と平塚で行う予定でした。</p> <p>厚木市にも観光とタイアップして地域を活性化していくといった考え方はありますでしょうか。</p>
事務局	<p>実施できれば理想的ではありますが、どの団体も高齢化や保全活動で手一杯であるという声は聞こえてきており、人員のキャパシティとして受け入れが可能な団体があるかの見極めは慎重に行う必要があると考えています。</p>
委員長	<p>鉄道会社さんなども興味は持っていますが、生業として実施するには、コンテンツが充分でないと感じます。</p> <p>健康づくり大学でも盛んにアピールしていますが、温泉宿のみで広がりがない状況でもあります。決してノルディックツアーも悪いわけではありませんが、もっともっと広がりを持つ必要性を感じています。</p> <p>里地里山には、街の人が喜ぶコンテンツは沢山あると思いますが、旅行業界の利益面からすると、どうしても避けられてしまう傾向があります。それと受け皿がありません。私で良ければやりますが、やはり旅行業に進出してきていただく必要性はあると思います。</p> <p>厚木市には面白い場所が沢山あります。</p> <p>例えば、森林散策をして、カボスをもいで、鱒を焼いて、もいだカボスを絞って食べて、温泉に入るなど、喜んでいただける場所は沢山あります。</p> <p>今、福井ではエコグリーンツーリズムというものをやっていますが、みんな農泊、農家民宿、農家レストラン、体験などのコンテンツを出せ出せとなってしまっています。</p> <p>個人的には、最近、何もしないツーリズムもあると考えています。</p> <p>体験した人には分かると思いますが、弁天岩の傍のせせらぎで敷物</p>

委員長	<p>を敷いて一日本を読んだりして自由に過ごす。</p> <p>実は、忙しく心も病むことも多い現代人としたら、求めていることはそういうことなのではないかと思います。</p> <p>他に何かありますでしょうか。</p> <p>なければ次回の意見交換会に期待しつつ、事務局にお返しをします。</p> <p>みなさんありがとうございました。</p> <p>【4 その他】</p> <p>委員の改選に伴う公募、次回の会議日程等について事務局から説明。</p> <p>【5 閉会】</p>
-----	---